

学習館スタッフに
きいてみよう！

森の質問箱

Q

オスとメスのペアで飼っていたカブトムシ。秋になったら死んでしまったけれど…？



10月ごろになったら、新聞紙などの上で、土を広げて幼虫を探してみよう。幼虫がいたら、新聞紙に広げた土を半分くらい元の虫かごに戻して、もう半分は新しく土を買ってきて入れます。

冬の間も土の様子をよく観察して、表面に糞（黒くてかたい粒）が目立つようになってきたら、土の半分を交換しましょう。こまめに土を交換して、エサである腐葉土をたくさん食べられるようにすると、大きく育ちます。上手くいけば、来年の春ごろにさなぎになりますよ。

A

今年7月のイベント「カブトムシプレゼント」でプレゼントしたカブトムシはどうなりましたでしょうか？

飼っていた成虫のカブトムシがいなくなっても、土の中には幼虫が生まれているかもしれません。育てていた土を捨てずに、10月ごろまでは土が乾かないよう毎日水をかけて置いておいてください。



今月のイベント

11（金） 季節の植物観察会

いつもは見逃してしまう木や草花も、詳しい説明を聞きながら見るとたくさんの発見があります！身近な植物で季節を感じてみませんか？

12（土） 木や竹、木の実を使った工作

万博公園でとれた木の実や枝、自然の材料を使って自由に作ろう。ものづくりが大好きなボランティアのみなさんがサポートします。

13（日） 秋の昆虫観察会

秋を賑わす昆虫たちを、動きや鳴き声をたよりに見つけてみよう。捕まえた昆虫はみんなで観察したあと、元の場所に放します。

26（土） 木や竹、木の実を使った工作

27（日） 木の実、種子の観察会

さまざまな木の実のなっている様子や、違いを観察してみよう。

観察会

時間 10:20～11:50（野鳥）
13:30～15:00（昆虫、植物）
受付 当日30分前より森の教室
（学習館正面入口向かい）にて受付

参加費 1人100円（幼児は無料）

工作教室

時間 13:30～15:00
受付 当日30分前より森の教室
（学習館正面入口向かい）にて受付

参加費 1作品300円

※いずれも雨天中止

催否は学習館へお電話にてお問い合わせください。

10、11月は水曜日も開館しています

どんぐりや紅葉など、万博公園の豊かな自然を楽しめる季節。学習館では園内のいきものや植物の最新情報を発信しています！万博の森を訪れる際にはぜひお立ち寄りください。

なお、移転作業のため、11月中旬から2週間ほど臨時休館を予定しております。日程などは随時ホームページにてご案内します。

自然観察学習館

入館無料 ※別途公園入園料必要
開館時間 10:00～16:00
（水曜・年末年始休館）

TEL. 06-6877-6923

HP <https://www.expo70-park.jp/facility/nature/nature-01/>



自然観察学習館

ニューズレター

2019年
10月号



学習館の近くで
見つけたキノコ！

観察してみよう <秋にはどんなキノコが出ているのかな>
調べてみよう <キノコにはどんな役割があるのだろうか>

自然観察学習館では、年3回キノコ観察会（梅雨・秋・春）を開催しています。講師は、日本菌学会の会員で、京都御苑きのこ会代表の佐野先生です。



▲カワラタケの仲間
カワラタケの近縁種



▲ヌメリガサ科の仲間
ワカサタケ属の一種



▲ナラタケモドキの幼菌



▲テングタケの近縁種



▲イグチ類の仲間

こんなキノコも
見つかるかも？
撮影地：京都御苑
佐野先生提供

キノコは「森のそうじやさん」
知られざる菌類の世界を
万博の森で観察しましょう。
佐野先生より



平日限定！15分プログラム 作った作品はお持ち帰りいただけます。



きのこ工作

日時 10月中の平日（月～金）
10:30～15:00

参加費 無料 ※別途公園入園料必要
※団体でのご利用はご遠慮ください

学習館スタッフに
お声がけください

